

保育料補助増額など 子育て支援を拡充

女性の社会進出が進むなか兵庫県では、待機児童の解消に向けて、保育所等の定員拡大や保育人材の確保などに力を入れて取り組んでいる。今年度は新たに、保育施設の建物賃料や用地取得にかかる利子負担、21時まで延長保育を実施する場合の運営費用などを支援すると発表した。

同時に、子育て世代の負担を軽減するため、第2子以降の保育料補助(所得制限あり)を1,000円増額する。また、認定こども園の設置や幼稚園・保育園からの移行を促進し、2020年度には約80施設を増やす計画だ。小学校入学後に、就労等で昼間家庭に保護者等がいない児



イメージ写真

童の安全・安心な居場所となる放課後児童クラブについては、今年度75施設増やすことを目指し、開所時間は19時半まで延長する施設を支援。増加する待機児童の解消に取り組む。

子育て支援の施策は地域のニーズを踏まえて、各市町が担う。県の担当者は、「環境整備と経済負担の軽減の両面から支援することで、今後も市町とともに安心して産み育てられる環境をつくり、少子対策につなげたい」と話す。

職人の技を写真集でPR 「かっこいい」憧れの職業に

神戸市では、市内で活躍する技能職者の仕事を若い世代にPRするため、写真集「神技(かみわざ)」を制作した。写真集に登場するのは、家具職、洋服仕立職、洋菓子製造工など、29職種30人。制作には、市内の35職種38団体が加盟する神戸市技能職団体連合会が協力した。

市ではこれまでも冊子を作成したが、教材的な要素が強いものとなっていた。そのため今回は、クリエイティブディレクター監修のもと、神戸らしいおしゃれな雰囲気やインパクトを重視。職業らしさを表現する一瞬を写真に収め、息づかいが伝わることに注力した。職人の仕事にかけ



写真集はA5サイズ、64ページ。表紙カバーは広げるとA3サイズのポスターのようになる。

る思いや職業を表すひと言が添えられている。担当者は、「若い人が技能職に興味を持ち、後進の育成にも役立てたい」と期待する。

写真集は、市内の学校や県内のハローワークなどに1,000部配付。今後はインスタグラムでの発信も予定している。Instagram@kobe_kamiwaza

しあわせの村 18歳未満同伴で駐車場が無料

神戸市が運営する総合福祉施設「しあわせの村」(北区)が、7月1日から18歳未満同伴で普通車の駐車場代、1台500円を無料化する。1988年のオープン当初から行っている高齢者や障がい者への支援に加え、新たに子育て支援の一環で駐車場代を無料にした。施設内の受付で年齢を証明する書類(健康



しあわせの村周辺駐車場などあわせると約1,600台収容できる。

保健証等)を提示すると無料になる。同施設には、走り回って遊べる「芝生広場」や遊具がある「トリム園地」など、子ども向けの施設も多い。市の担当者は「駐車場の利用率は高いものの、子育て世代の利便性を考えて実施に踏み切った。より多くの人に利用してほしい」と話す。

地産地消の起爆剤に 常設の直売所が 北野坂にオープン

神戸市の「農」と「食」の交流拠点を目指す常設直売所「FARMSTAND」が北野坂に3月31日オープンした。同市では地産地消を推進する取り組みのひとつとして、2015年から地産物の直売所「EAT LOCAL KOBE」ファーマーズマーケットを東遊園地で週一回程度開催している。今回、地産地消をさらに活性化させるため、人口が密集する中心市街地、北野坂で常設店の開設に踏み切った。神戸市内の若手農家の野菜を中心に、屋内のため取り扱い可能となった水産物や乳製品なども販売する。

FARMSTANDの経営は、ファーマーズマーケットの運営経験がある有限会社Lusie(神戸市)が行う。同社は不動産管理や都市開発のプランニングなどを手掛けている。今回の開設には生産者たちも改装を手伝い、壁を塗装したり、大工仕



イトインスペースでは、地産物を使ったランチやスイーツが楽しめる。

事をするなどして、みんなで作り上げていったという。同社広報の小泉亜由美さんは「農家の販売拠点という機能だけではなく、多様な働き方をサポートできればと思っています。生産者が接客や厨房スタッフとして加わるなど、まちでの活動拠点としても活用してもらえれば。また、消費者が「農」への理解を深め、農家とつながれる場所でありたいです」と、意気込みを語った。今後は生産者による料理教室などのイベントも開催したいとしている。

宝塚山手台に複合商業施設 今秋以降、テナント順次オープン

宝塚山手台の中心部に位置する山手台西3丁目において、オープンモール型の商業施設「阪急宝塚山手台複合施設(仮称)」が今秋11月以降に順次開業する。施設内には、小児科や内科などの医療機関や交流スペースを設けたドラッグストア、キッズスペースのあるコンビニエンスストア(予定)、ペッ

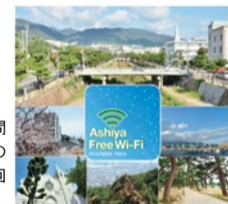


豊かな自然環境に囲まれ、子育て世帯にも人気のエリア。

トのトリミング施設が併設された美容院(予定)など、地域住民の生活利便性とコミュニティ活性化を目的とした店舗が入る。また、現在カフェ運営事業者を募集中。問い合わせは、同施設の企画・開発コーディネーターを行う株式会社ライフイノベーション06-6886-5611。

芦屋市内の公共施設に 無料Wi-Fiを設置

芦屋市では、より早く情報が必要になる災害時に備え、無料でインターネットに接続できるサービス「Ashiya Free Wi-Fi」を市内の公共施設に設置した。平常時でも利用できる。情報端末(スマホやタブレット、パソコン等)にアプリをダウンロードするか、端末のネットワーク画面から「Ashiya_Free_Wi-Fi」



1回30分、1日合計4時間の利用が可能。災害時のみ1回30分で1日の利用回数は無制限となる。

を選択し、メールアドレスかSNSアカウントで認証を受けると利用できる。現在は市役所や市民活動センター、各地域の集会所など27カ所に設置。市の担当者は「貸室のある施設では以前からFree Wi-Fiのニーズがあった。災害時にスムーズに使えるよう事前に試しておいてほしい」と利用を促す。

暴力団等を恐れない ～暴力団等からの不当要求に屈しないために～

協力:兵庫県警察



暴力団等反社会的勢力が不正に利益を得る手段として、会社などの各種法人や、その社員等へ、「迷惑料・慰謝料の要求」「機関紙(誌)の購読の要求」などを行う企業対象暴力と呼ばれるものがある。

そのような企業対象暴力と呼ばれる暴力団等からの不当要求には、絶対に応じず、毅然とした態度で、冷静に対応することが大切だ。

【不当要求への対応等】

- 相手の氏名、所属団体の確認と用件の確認をすること。
- 対応場所は自社の応接室など、素早く助けを呼ぶところまで対応すること。
- 相手より多い人数で対応し、役割分担を決めておくこと。
- 電話や面接の対応内容は、メモや録音をして記録化すること。
- 相手の要求に即答や約束はしないこと。
- 普段から警察や暴力団追放兵庫県民センターと連携するなどして、有事の時には機を失わずに警察に通報すること。
- 暴力団排除条項や「表明・確約書」の導入。

「表明・確約書」とは…

「暴力団等反社会的勢力ではないこと」「暴力団等反社会的勢力と関係ないこと」などを表明させ、これに「違反した場合や、虚偽の申告をした場合には「無催告で解約に応じる」ことを確約させる文書のこと。暴力団等反社会的勢力ではないことを確認することができ、契約前に、暴力団等反社会的勢力を排除できる。

【相談窓口】 暴力団等に関する相談や被害の届出は、県内各警察署や「暴力110番」 **0120-20-8930** (24時間受付)へ